



春の匂いがしてきましたが、今年の積雪はまだハイシーズン！雪はまだありますよ！寒いのが苦手な方には、もってこいの春スキーですが、雪の心配は無いみたいです。仕事が忙しくて行きそびれている人は、これからでも十分間に合いますよ！

さて、今シーズンは「瓜連スキークラブ」内でのツアーや、レベルアップ研修会などを企画しておりました。参加した皆様から、レポートが届いておりますのでご紹介していきます！

懐かしい顔ぶれが集まった猪苗代ツアー

寺門 茂

1月12日～13日の両日、猪苗代スキー場へ
天気は初日雪、二日目強風と言うコンディションの中で個々人が思い思いに楽しいひとときを過ごしました。高校生3人（そのうち2人は新クラブ員で一人はボードに進む、もう一人はスキーに進む）は、ボードを楽しみ、おじさん二人も2日目はボードをしていたようです。

雪質も良く最高！！自身を持った人たちは国体コースへ行ってみると・・・そこはガリガリの不整地、一本滑り終えたら今日のスキーは終わったって感じでした。

大量に持って行った「酒」は余りました。疲れたことや帰りの運転のことを考えると、このご時勢、控えざるを得ないのでしょうか。弱くなったのかなあ？

皆さんから出された話は、

- 毎年「クラブツアー」を計画しよう！
- 近くの猪苗代でいいから、30人集めてバスで行こう（酒が呑める）
- フリーで滑れて良い所・悪い所をお互いに言い合える
- クラブ員の同窓会に知り合いが参加って感じ
- クラブ員の川又さんにも、スキーができないならマイクロバスの運転手で復帰してもらおう！

などなど、出された話はずきませんでした。疲れたせいかわりに10時ごろには寝てしまいました。

次回も同じところに計画する予定であります。ぜひ、30人集めてバスで行けるようがんばります。

クラブ員の皆様のご協力をお願いいたします。



写真（右）小嶋さん

クラブ初！ボード研修会

報告者 中宮 雅人

2月23日～24日、猫魔スキー場で行われたクラブ研修会では、瓜連スキークラブとして初のスノーボード研修会も開催出来ました。

参加者は1名と人数的には寂しいものでしたが、あいにくの天候にも負けず、怪我も無く楽しく滑ることが出来ました。

今後、スノーボードの参加者が増えるように、スノーボード部門も頑張っって活動していきたいと思ひます。

瓜連スキークラブ 研修会

報告者 黒沢 知嗣

日時 2008年2月23～24日

場所 福島県 猫魔スキー場

目的

若手クラブ員（今回は健太、慎太郎、亮を中心に考えた）のレベルアップ

参加者

石川由紀子、中宮雅人、黒澤亮、黒澤知嗣、大森慎太郎、寺門健太、小橋亮太、ほか（平出、北中）

山形県米沢スキー場より近野先生を講師として招き2日間にわたって講習を行った。

1日目はプルーク形状から外足を前に押し出す練習から始まり午後にはいつの間にかパラレル形状になっていた。去年までの教え方と少し違う点があったのは、去年は「外腰を出せ」という教え方だったのに対して、今年は「外足を前へ出す」に変わっていた事だった。写真は熱く語る近野先生と熱心に聞き入るクラブ員達である。熱く語る近野先生の姿はめったに見れるものではないのでこの1枚は貴重なワンショットと言えるだろう。



2日目は大雪と大風の日となり、午前中は深雪を楽しく滑った。今回のような深雪でもほとんど転倒せずに滑ることが出来たのは近野先生の教えの賜物であると断言できる。午後からは片脚ターンなどのトレーニングを行いショートターン系のレベルアップを図った。



写真はレストラン前で雪に埋められた平出さんの写真です。本人曰く、「雪崩に巻き込まれた時は本当に息が苦しいらしいです。」

近野先生の教えによって若手クラブ員は何かをつかんでくれたものと思う。今回のような講習会を重ねていけば若手のレベルが格段に上がり、クラブの活性化にもつながるだろう。瓜連スキークラブが他のクラブに恐れられる日もそう遠くはないかもしれない。近野先生、ありがとうございました。

クラブ研修会に参加して

報告者 寺門 健太

今回のスキー研修では、山形の近野先生に指導してもらえて、とても充実した2日間になった。近野先生の滑りは、すごく優雅で、やばかったです。いつかは、あんな風に滑れたらいいなあと思います。

2日目は、前日からの降雪でめっちゃめっちゃ深いふわふわの新雪でした。

那珂スキークラブから参加した平出さんは、「金魚のように...じゃなくて...新雪を泳ぐようにすべりたい」と言っていました w(° °)w

そして何より今回泊まったペンションのデザート（写真：花豆のモンブラン）がめっちゃめっちゃうまい!!!! 衝撃でしたね。また時間が空いたら行きたいです。あ!?!でも、金がないや↓



スキー技術選手権に出場してみました

石川 由紀子

2年ぶりに、技術選に出ました。今年の参加は、志保石裕之、黒沢知嗣、黒沢亮親子と石川由紀子の4名で挑みました。技術選は、規制されたグレンデをたった一人で滑る開放感、ツンとした空気の中で滑走する緊張感と、独特の雰囲気がありますが、参加するとなかなか面白いものです。

予選は、岩鞍らしい天候で、気温はマイナス7度。天候はますます、雪質もパウダーではあるけれど、強い風と気温の低さで、荒れ始めたバーンは、刻一刻と硬めに変化してきていた。結果は、

女子の部 石川由紀子 32位 (ちい〜と悪かった・・・なあ)
男子の部 黒沢知嗣 72位 (予選通過) 決勝 81位
志保石裕之 86位
黒沢亮 169位 (マスターズを蹴って本選に参加!!)

黒沢知嗣が、予選を通過して決勝へと進んだものの、初の決勝進出で緊張があったのか、前日よりも点数を落とし、81位となりました。

これまでの滑り方にプラスして、技術選向けの練習が必要だと感じた結果となりました。見せる滑りを考えるということなのでしょう。ま、技術選は一つのお祭りです。私的には、怪我なく楽しんで滑れてよかったです。亮さんも頑張っていましたよ、(^o^)

若手には、これからもドンドン自己研鑽を積んで、また来年挑戦していただきましょう！期待しております。頑張ってください！

スノーボード技術選手権大会

中宮 雅人

2月11日、だいくらスキー場で行われた「スノーボード技術選手権大会」に参加してきました。茨城・栃木・埼玉の三県合同開催となった今大会は、参加総数約70名で、フリースタイルとアルペンスタイルの2つのカテゴリーにわかれ、それぞれ男女別に滑走技術を競いました。

自分の技術の未熟さを痛感した結果となってしまいましたが、大会の雰囲気や緊張感など、ただ滑っているだけではなかなか味わうことのない貴重な経験が出来たと思います。

今回は初参加ということもあり、とても緊張してしまいましたが、次回はより良い成績を残せるように頑張ります。

正指導員受験に挑戦して

石川 由紀子

2月15日～17日までの3日間、猪苗代スキー場にて正指導員検定会がありました。去年、裕之くんが受験していて、瓜連からは連続の挑戦となった今年。まだまだ技術不足ということで、残念ながら合格には届きませんでした。茨城県のデモの皆様と同期受験ということで、大変勉強になった受験でした。

準指のときと違い、各県の受験生の滑りを間近に見ることもできました。全日本技術選手権の上位選手のプルークターンや、福島県のトップクラスの方のシュテムターンなど、普段ならなかなかお目にかかれない滑りを、ゼッケンを着けながらサポーターのように見学していました。

低速種目が上手な人は、高速種目になっても安定しています。やはり、基礎はダイジなのですね。自分は、どうしても不整地に苦手意識があって、なかなか上達しませんが、まだまだ今シーズンもたっぷり残っています。頑張って来年の受験に繋がるように、トレーニングをしていきたいと思います。

事務局たより

今年の話の映画、「銀色のシーズン」を見ましたか？ 1月12日（スキーの日）に封切されて、ますますの人気のなさそうですが、スキーヤーの増加に繋がるのかな～？ 何しろオフピステでの滑走シーンや、グレンデ内での危険行為が目立つ映画で、主人公はモーグルの有名選手という設定。当然、一般スキーヤーには真似できないですよ～。最近のスキー業界にまつわる、いろいろな話題が盛り込まれていて、面白かったのですが。「ワタスキ（私を～）」のようなバブルにはならないかなあ～。

グレンデでの事故が増えています。ボーダーのワンメイクでの死亡事故や、スキーヤーの判断ミスによる遭難事故などです。決して初心者の事故ばかりではありません。

普段滑っているグレンデも、山の気象の変化で、突然恐ろしい雪山に変わってしまいます。常に、周りの状況や天候などを確認して、安全な滑走を心がけてください。

現実には、映画のように行かないものですからね！！

==新人くんのご紹介==

●寺門 健太

瓜連在住 18歳！ 会長 寺門茂氏のご子息で、SAJ2級保持 来年度は、大学が東京ということですが、オヤジ譲りのスキーセンスとガッツで頑張っって欲しいものです

●小橋 亮太

瓜連在住 18歳！ ボードセンス抜群！すぐにバッチテストに合格しそう！期待大のボーダーです

●大森 慎太郎

常陸太田在住 19歳 身長180cm超の大型新人！バスケットで鍛えた運動神経抜群の両脚は、ムカつくぐらい長い 得意技はキックターン？

●浅野 未来恵

石岡在住 23歳 SAJ2級保持 うらやましいぐらいの両脚同調が、これからますます上達の予感！ 私をスキーに連れてって 牛串好きの女子で～す！

●寺門 雅敏

瓜連在住 平成生まれの16歳！ 寺門博文氏のご子息です。5歳からスキーを始めたホットな新人です。マー君と呼んでね